

第 53 期

中間事業報告書

平成 15 年 4 月 1 日から平成 15 年 9 月 30 日まで

TOCALO

トーカロ株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成15年9月30日をもちまして第53期上半期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)の中間決算が終了いたしましたので、ここにその事業の概況についてご報告申し上げます。

平成15年12月

代表取締役社長

中 平 晃



● 営業の概況

当中間期のわが国経済は、個人消費は雇用環境が改善しないなか冷夏の影響もあり低迷したものの、当初懸念された重症急性呼吸器症候群(SARS)の影響は軽微なものとなり、米国および中国の景気が比較的好調に推移したため、輸出が牽引力となり鉱工業生産および設備投資が上向きに転じてまいりました。

当溶射業界におきましては、半導体製造装置業界で国内の需要が回復したほか、韓国を中心に液晶基板大型化に伴う新規設備投資が動き出したこと、比較的高い鉄鋼、化学業界の需要が堅調であったことなどにより全体として堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社は、前期に引き続きマネジメント・バイアウト(MBO)の推進に向けて収益の確保と財務体質の改善に取り組んでまいりました。特に事業活動においては、液晶基板の大型化対応を強化するため、皮膜の開発と生産設備の増強を実施してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は65億82百万円と中間会計期間としては過去最高を更新いたしました。また経常利益は11億35百万円、中間純利益は6億66百万円となりました。

以上のような業績ではありますが、当期の中間配当につきましては、今後の動向を見極めるため見送らせていただくことにいたしました。

下期の経済見通しにつきましては、個人消費の回復が当面期待できない状況にあるため、依然として輸出の動向に左右されるこ

となりますが、直近の円高傾向が進む場合には企業収益の悪化と設備投資の減少につながるおそれがあり、先行き予断を許さない状況にあります。

このような経営環境の中で当社は、「高技術・高収益体質の、内容の充実した中堅企業」の実現を目標に、「高品質皮膜を追究し提供する研究開発型企業」、「営業、製造、研究開発の各部門が三位一体となった事業運営」、「ハイエンド商品に注力した高収益体質の確立」をめざしてまいります。

またその戦略として、営業面で特定の分野、企業、商品に依存し過ぎないこと、伸びる分野、伸びる技術へ経営資源を集中すること、好不況に関係なく技術開発、商品開発、市場開発を継続すること、差別化した中、小型の商品を多数持った幅広い商品構成にすること、を掲げ「全天候型経営」の実現に努めてまいります。

以上の方針および戦略の下、当面の課題といたしましては、半導体・液晶分野への依存度が過度に高くないように全体として業容の拡大をめざすために、特に産業機械、石油化学、紙・パルプ等の拡大重点部門の需要開拓に取り組んでいく考えであります。また、引き続き半導体・液晶向けの皮膜開発および設備増強を含む生産体制強化を進めてまいります。周辺部門では、TD部門で自動車金型等の受注の拡大をめざす一方、ZAC部門では当社独自の技術を生かし用途の更なる拡大を図ってまいります。

財務面では、前期末におきまして借入残高を26億78百万円まで減少させることができましたが、当中間期末では28億50百万円に増加しており、今後もキャッシュフロー重視の経営を進め借入金の返済に努める考えであります。

以上のような経営努力により、当期は売上高128億円以上、経常利益19億円以上の年度として過去最高の利益確保をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

・当社株式の上場について

本年11月17日付で、かねて当社がMBOの一環としてめざしておりました当社株式の東京証券取引所市場第二部への上場が承認され、本年12月19日上場の運びとなりました。これも株主の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 貸借対照表 (平成15年9月30日現在) (単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(11,513,110)	(負債の部)	(7,879,608)
流動資産	5,917,830	流動負債	4,317,412
現金及び預金	468,304	支払手形	1,571,762
受取手形	1,258,476	買掛金	357,402
売掛金	3,374,925	短期借入金	400,000
原材料	214,893	1年以内返済予定	
仕掛品	237,665	長期借入金	357,080
貯蔵品	98,631	未払金	133,049
前払費用	31,538	未払法人税等	452,213
繰延税金資産	229,343	未払消費税等	70,871
その他の流動資産	12,050	未払費用	346,457
貸倒引当金	△ 8,000	預り金	55,946
		賞与引当金	400,000
		設備支払手形	172,628
固定資産	5,595,280		
有形固定資産	4,602,897	固定負債	3,562,195
建物	1,512,073	長期借入金	2,093,030
構築物	47,849	長期未払金	239,492
機械及び装置	1,303,264	退職給付引当金	941,517
車両運搬具	1,582	役員退職引当金	283,711
工具器具備品	75,087	その他の固定負債	4,444
土地	1,465,206		
建設仮勘定	197,834	(資本の部)	(3,633,502)
無形固定資産	329,801	資本金	1,472,923
借地権	309,817	資本剰余金	757,754
ソフトウェア	17,915	資本準備金	756,704
その他の無形固定資産	2,067	その他資本剰余金	1,050
投資その他の資産	662,581	自己株式処分差益	1,050
投資有価証券	62,604	利益剰余金	1,389,663
長期前払費用	10,071	任意積立金	422,850
会員権	15,887	別途積立金	420,000
保証金	58,951	固定資産圧縮積立金	1,526
繰延税金資産	490,795	特別償却準備金	1,324
その他の投資	24,270	当期末処分利益	966,812
		株式等評価差額金	13,161
資産合計	11,513,110	負債及び資本合計	11,513,110

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

(単位:千円)

科	目	金	額
経常損益の部	営業損益の部		
	営業収益		
	加工料収入	6,582,121	6,582,121
	営業費用		
	加工料原価	4,270,798	
	販売費及び一般管理費	1,151,974	5,422,773
	営業利益		1,159,348
	営業外損益の部		
	営業外収益		
	受取利息	2	
	雑収入	6,863	6,865
	営業外費用		
	支払利息	28,382	
	雑損失	2,401	30,784
	経常利益		1,135,429
特別損益の部	特別利益		
	固定資産売却益	67	67
	特別損失		
	固定資産除却損	4,172	4,172
税引前中間純利益			1,131,324
法人税、住民税及び事業税			445,000
法人税等調整額			19,620
中間純利益			666,704
前期繰越利益			300,108
中間末処分利益			966,812

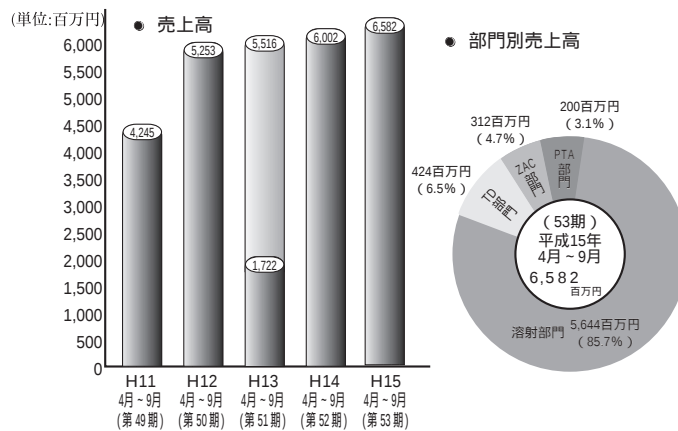
(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 会社の概況

(平成15年9月30日現在)

1. 主要な事業内容

当社は、金属やセラミックスを高温で溶かして機械部材などに吹付け、表面に高機能皮膜を形成する「溶射加工」を主力に、T D処理加工、Z A Cコーティング加工、P T A処理加工など多彩な表面改質技術を使用し、受注による表面処理加工およびその販売業務を行っています。



- (注) 1. 平成12年中間期以前は旧トーカロ機の売上高であります。
 2. 平成13年中間期の売上高は旧トーカロ機の4月~7月分と当社の8、9月の2ヶ月分(1,722百万円)を加えたものであります。

2. 株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数 20,480,000株
2. 発行済株式の総数 6,600,000株
3. 株主数 101名
4. 大株主

株主名	持株数	議決権比率
ジャフコ・バイアウト一号投資事業有限責任組合	3,122,000株	47.30%
トーカロ従業員持株会	1,124,000株	17.03%
中平晃	440,000株	6.67%
ピージーエムダッチアジアプライベートエクイティファンド	360,000株	5.45%
廣瀬眞理子	217,200株	3.29%
中平怜	126,200株	1.91%
高馬昭良	82,600株	1.25%
岡隆	74,000株	1.12%
末永民恵	65,200株	0.99%
西條久美子	65,200株	0.99%
西條憲一	65,200株	0.99%
西條朋哉	65,200株	0.99%

3. 所有者別株式分布状況

個人・その他	6,225,800株 (94.33%)
法人等	374,200株 (5.67%)

4. 従業員の状況

従業員数は、総数380名です。なお、従業員数には、臨時従業員（嘱託・パートタイマー）128名は含まれておりません。

5. 主要な事業所

本店及び
溶射技術開発研究所：神戸市東灘区深江北町四丁目13番4号

工場：*神戸工場、*東京工場、名古屋工場、*明石工場、
明石第二工場、明石第三工場、明石第四工場、
水島工場、*北九州工場、北九州第二工場

営業所：鹿島営業所、北関東営業所、山梨営業所
神奈川営業所、静岡営業所、和歌山営業所

*ISO9001：2000認証取得工場。
本店・溶射技術開発研究所にてISO14001の認証取得

6. 取締役および監査役

代表取締役社長	中 平 晃
取締役副社長	中 平 怜
専務取締役	太 田 義 人
常務取締役	高 馬 昭 良
常務取締役	川 口 啓 次 郎
取締役	安 川 勝
取締役	磐 長 谷 勲
取締役	竹 澤 進
取締役	岡 隆
常任監査役	中 井 康 巨
監査役(非常勤)	立 辻 治
監査役(非常勤)	日 下 敏 彦

(注) 1. 監査役中井康巨氏、立辻 治氏および日下敏彦氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

2. 当期中の異動

(1) 退任

取締役 原田健一氏は、平成15年8月19日付で辞任により退任いたしました。

(2) 役付取締役の就任

平成15年6月26日開催の、第52回定時株主総会終了後に開催された取締役会におきまして、中平怜氏が取締役副社長に、太田義人氏が専務取締役に、高馬昭良氏ならびに川口啓次郎氏が常務取締役にそれぞれ選任され、就任いたしました。

株主メモ

決 算 期 3月31日
定 時 株 主 総 会 期 6月
開 催 時 期
基 準 日 定時株主総会関係 3月31日
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします)

1 単元の株式数 100株

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部
〒541-8502 電話(06)6222-3111(代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社全国本支店

公告掲載新聞 日本経済新聞



<http://www.tocalo.co.jp>